

7月1日(水)～31日(金)

社会を明るくする運動強調月間です 「犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域の手カウ」

問合せ 福祉課保護係

「社会を明るくする運動」は、すべての人が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。昭和26年に始まり、今回で第65回を迎えます。

本運動への賛同の印として、ヒマワリをイメージした黄色い羽根を広報資料に活用しています。

7月を強調月間として、保護司会や更生保護女性会の皆さんが中心となり、市内各所での街頭広報活動を始めとするさまざまな啓発活動を行います。

行動目標

- ・ 犯罪や非行のない安全・安心な地域社会を築くための取組みを進めよう
- ・ 犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう

重要事項

- ・ 出所者などの事情を理解したうえで雇用する企業の数を増やすこと
- ・ 帰るべき場所がないまま、刑務所から社会に戻る人の数を減らすこと

【保護司】

犯罪や非行をした人の立ち直りを地域で支えるボランティアです。保護観察対象者の生活環境の調整や、犯罪予防活動に取り組んでいます。

【更生保護女性会】

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や子どもたちの健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティア団体です。

活動について 服部三千子（保護司）

戦後間もない昭和24年当時、犯罪や非行が激増し、社会不安が増大するなか、銀座の商店街の有志が、子どもたちのためにさまざまなイベントを行い、殺伐とした世相に明るい光をともしました。こうして生まれた「社会を明るくする運動」は、今年で65年目を迎えます。

私たち保護司は、7月4日(土)に市更生保護女性会とともに、7か所のスーパードラッグで街頭啓発活動を行います。ハンドタオルのなかには、市内の中学生から募集した優秀標語が入っており、犯罪や非行を防止したいという力強いメッセージが込められています。是非ご覧ください。

社会を明るくする運動標語作品入賞者

(敬称略)

最優秀賞

スマホより 赤ちゃんを見て お母さん

西口 真央 (南中 1年)

優秀賞

Look at me

「見つけよう! 人それぞれの 良い所」

生田 董 (南中 3年)

言葉の矢 心の的に つきさすな

高山 美羽 (東中 1年)

入選

もういやだ 気づいてくれよ 心の叫び

小笠原 尚 (新川中 3年)

いいのかな もつ一度鏡の自分に 問いかけて

加藤 美帆 (新川中 3年)

あいさつは だれでもできる プレゼント

高橋 侑子 (中央中 1年)

画面越し 真実の言葉 伝わらない

山田 優羽 (中央中 1年)

人間は グチ言う顔より スマイル1番

磯貝 百子 (南中 1年)

ちよつとまちゃん あんたの行動 いいのかね?

角谷 太陽 (南中 3年)

目には見えん ネットの後ろに ひそむ影

藤田 智巳 (東中 1年)

気づかない フリをするのも いじめつ子

亀田 千尋 (東中 2年)

閉ざされた 心に一言 「どうしたの?」

大橋 由菜 (西端中 1年)

ボランティア 参加で地域に 恩返し

天野 未貴 (西端中 3年)

碧南保護区保護司会碧南支部長賞

ありがとう 誰もが使える 魔法の言葉

村松 歩香 (新川中 3年)

「自分だけ」 そんなルールは ありません

角谷 美鈴 (中央中 1年)

「つざいから」 ただそれだけで いじめるな

福地 大誠 (南中 1年)

危険ドラッグ 買わん使わん かかわらん

金子 愛実 (東中 3年)

スマホやめて 相手の顔見て 話そうよ

原田 瑞暉 (西端中 3年)

市更生保護女性会賞

みえ張らず 素直に言いたい ごめんなさい

佐々木晴菜 (新川中 3年)

手をさしのべよう いつでもどこでも だれにでも

森川ほのり (中央中 3年)

気づこうよ いじめられてる あの子のいたみ

伊豆倉妃乃 (南中 1年)

ありがとう 親のおかげで 生きている

服部 愛璃 (東中 1年)

あいさつで 新しい朝が 始まるよ

大野 叶奈 (西端中 3年)